

子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業

「びわ湖と友だちになろう！」 白砂青松を歩く

滋賀地区地区委員・佐々木建雄、プログラム担当者・佐々木建雄

【事業のポイント】

- 琵琶湖岸の砂浜を歩きながら、琵琶湖の大きさを体感し、解放感を味わう。
- 砂浜ウォーキングをしながら、随所で遊びを取り入れ、子供の好奇心を呼び起こす。
- 森、川、琵琶湖、人のつながりを学習する。



1. 事業の趣旨

(1) 趣旨

小学校の学習指導要領における自然体験活動を通じた教育課程の趣旨を確認しつつ、何より、子供たちが楽しく、安全に、そして主体的に目標達成に向かって活動できるように企画され、地域を担う人材の育成につながる、全国的かつ継続的な自然体験活動推進事業を実施することにより、子供たちの健全な心身を育む。

2. 実施概要

(1) 構成団体(運営体制)

FIJ関西支部 - 滋賀地区指導者グループ - 「びわ湖と友だちになろう」 白砂青松を歩く指導者チーム

(2) 開催実績

月日	場所	参加者数	日帰り・宿泊	経費	主な活動
3月14日	志賀～近江 舞子湖岸	子供21名 大人14名	日帰り	別途	湖岸砂浜ウォーキング、発見ビンゴ、水鳥観察、内湖の解説、琵琶湖周航の歌
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					

※必要に応じて枠を広げたり、行を増やしたりするなどして記載してください。

(3) 具体的な取組の概要



砂浜で思い切り遊ぼう！



雄松崎にて琵琶湖周航の歌を歌いました

3. 成果と課題

(1) 事業の成果と課題

滋賀地区第5回プログラムは、スカッと晴れ上がった青空、果てしなく広がる湖面、白砂青松とこれ以上ない条件に恵まれ、参加者は改めて琵琶湖の広さ、青さに接し感動の声をあげていた。子供たちも解放感あふれる広い砂浜で歓声をあげながら、思い思いに遊びを楽しんでくれた。また、参加者も回を追うごとに増えていき、今回・最終回は35名(子供21、大人14)と過去最高の人数となった。参加者の一人・中学1年生は、森林インストラクターになりたいと夢を語ってくれ、頼もしくまた楽しみである。今回、初めての参加が多く、その人たちから、もっと早く知っていたら・・・という声があがった。広報の仕方についてさらに検討し、より効果的な情報発信になるよう工夫が必要であると感じた。

4. 団体プロフィール

※団体概要や連絡先を記載してください。
施設の写真等の掲載も可能です。

写真
※キャプションも